

《注》・下記製品は、“化学物質の安全性に係る情報提供に関する指針”における対象物質ではありません。従って、製品安全データシートの書式での情報提供は困難ですが、類似書式での情報として、次のとおり御報告申し上げます。

- ・下記情報は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- ・ここに掲載した数値は参考値であって、保証値ではありません。

制定 2010年11月01日

改訂

1. 化学物質等及び会社情報

会社名 **タキロン**株式会社 揖保川事業所
 住 所 兵庫県たつの市揖保川町馬場1228-1
 電話番号 (0791)76-5556 F A X 番号 (0791)76-5880
 発行部門 環境品質保証部 作成部門 技術グループ

製 品 名 : タキロンポリカーボネートプレート
PCMRMS 61600 (プラスチック板)

2. 危険有害性の要約

分類の名称 分類基準に該当しない。

最重要危険有害性 : 該当しない

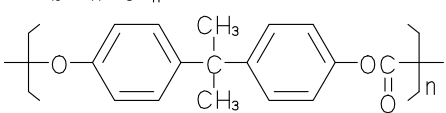
特定の危険有害性 : 該当しない

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化 学 名 : ポリ(4・4'-イソプロピリデン-ジフェニルカーボネート)

化学特性に関する情報 :

成 分	含有量 (w t %)	構造式	CAS No.	(化審法) 官報公示 整理番号
ポリカーボネート	98.5%以上	$(C_{16}H_{14}O_3)_n$ 	103598-77-2	7-738
アクリル系重合物	1%未満	記載なし	記載なし	記載なし
その他	0.5%未満	記載なし	記載なし	記載なし

危険有害成分 : なし

4. 応急措置

- 目に入った場合： 板状の固体につき、該当せず。
皮膚に付着した場合： 取り扱い上での付着は問題なし。
吸入した場合： 板状の固体につき、該当せず。
ただし、熱加工あるいは切断加工時に発生するガスを大量に吸入したときは、新鮮な空気のある場所に移動すること。喉、呼吸困難やその他の症状がでたときは、医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合： 板状の固体につき、該当せず。
-

5. 火災時の措置

- 消火剤： 注水・水・泡消火器・粉末消火器等が使用できるが、水の使用が冷却効果の観点から望ましい。
消火方法： 一般火災と同様の消火方法を行なう。
なお燃焼時には炭酸ガスの他に一酸化炭素等の有害なガスを発生する恐れがあるため、注意を要する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 板状の固体につき、該当せず。
環境に対する注意事項： 板状の固体につき、該当せず。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： 常温では引火のおそれはないが、作業場ではみだりに火気を使用しない。
保管： 直射日光の当たらない、熱・発火源から離れた水平な場所に寝かせて保管する。
常温でも時間経過でクリープ変形する。
-

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策： 板状物質で通常の手扱いは問題ないが、切断・熱加工等を行なう場合には、分解ガスがでるので、局所排気装置などを設置し換気をよくする。
-

9. 物理的及び化学的性質

- 外観等： 透明板
臭い： 無臭
沸点： なし
蒸気圧： 無視しうる。
揮発性： なし
融点： はっきりした融点は示さないが 240℃ 以上で流動する。
比重： 1.2 (20/4℃)
溶解度 水： 溶解しない。
溶解度： 0.33ml (塩化メチレン中)
-

1 0. 安定性及び反応性

引 火 点 : 5 2 2 ° C ¹⁾
発 火 点 : 5 5 0 ° C ¹⁾
可 燃 性 : ポリカーボネート樹脂は消防法上、酸素指数約26²⁾以上の難燃性を有するものとして取り扱われる。
発火性(自然発火性、水との反応性) : なし
酸 化 性 : なし
粉じん爆発性 : 板状物質で問題なし。
安定性・反応性 : 常温常圧で安定である。
熱 分 解 温 度 : 約380 ° C

1 1. 有害性情報

皮 膚 腐 食 性 : 知見無し
刺激性(皮膚、眼) : 乾燥、溶融時に発生するガスは、眼、皮膚を刺激することがある。
感 作 性 : 知見無し
急性毒性(50%致死量等を含む) : 知見無し
亜 急 性 毒 性 : 30～40匹の雌雄ラットに、微粉化したポリカーボネートを6%含む粥状の飼料を自由に摂取させ、8週間飼育した結果、体重の低下はなかった。血液像、X線検査、病理解剖、臓器の組織検査の結果は正常であった。
慢 性 毒 性 : 知見無し
が ん 原 性 : 知見無し
変異原性(微生物、染色体異常) : 無し
生 殖 毒 性 : (亜急性毒性と同様の試験で)生殖機能は正常であった。
催 奇 形 性 : 知見無し
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む) : 無し

1 2. 環境影響情報

環境に悪影響を及ぼす製品ではない。製品は容易に生分解しない。

分 解 性 : 知見無し
蓄 積 性 : 知見無し
魚 毒 性 : 知見無し

1 3. 廃棄上の注意

埋め立てるときは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い、公認の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合にはその団体に委託してその処理をする。³⁾
焼却する場合は焼却設備を用いて、大気汚染防止法等の諸法令に適合した処理を施して焼却する。包装のダンボールは、ダンボール(紙)類として廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制によるコード及び分類に関する情報 : 知見無し
水平な運搬台に寝かせて積み、荷崩れ防止に注意する。

15. 適用法令

危険物 : 該当しない。
労働安全衛生法 : 対象物質は添加していない。
毒物劇物取締法 : 対象物質は添加していない。
P R T R 法 : 対象外
廃棄物処理法 : 産業廃棄物、廃プラスチック類に該当する。

16. その他の情報

樹脂メーカーの製品安全データシートを参考にしております。

【引用文献】

- 1) R.M.Asseva and G.E.Zaikov: “Combustion of Polymer Materials”
Hanser Publishes, P.46 (1986年)
 - 2) プラ工連ニュース No.48、日本プラスチック工業連盟(1979年11月1日)
 - 3) 廃プラQ&A, 工業用熱可塑性樹脂技術連絡会(1992年)
-